（七日夕刊）
磐城新聞

休刊　大祭日翌日・第一第三日曜
定價【壹枚　錢、壹ヶ月　五十錢、郵稅十錢】
廣告料（一行五十錢指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　磐城國平町田町拾六　遠沼龍輔
發行所　磐城新聞社　電話五六四番

現今の醤醸界を見て（上）

小名濱　志賀要子

一、行詰れる醤醸界

近來醤醸界は行詰つたといふ。永年の不景氣續きで一般商業界の不振は云ふ迄もないが殊に醤醸界は生產過剩によつた同業者相互間の競爭は今尚ほ激しくそこへ遠慮なく伸びて行く巨大のもの、この手は一流マークをもつて市場獨占の歩を進め、一方には消費者の經濟智識の發達による品質の自由選擇や價格低廉の要求となり購買組合、自家用釀造等によつて漸次利潤の減少を來し、殆んど惰勢的に商賣してゐると云ふ狀態の業者も少くない、勿論多くの醤醸家は資產もあり地位もある方々で、所謂餘裕綽々たるものであらうが、自巳の經營する事業の利潤が追々減退を來し行詰つた不安に陷れることを無關心ではゐられない筈である、商賣に不安は大禁物不安の存するところに商盛はあり得ない、況んや醤醸業の利益のみを以て生活の基準とする業者においてをやである稼ぐに追ひつく貧乏なしと云ふ言葉もあるが、營々孜々として一生懸命に働く商に利益を得ることが出來ない場合は、全く骨折り損これが一種の失業でなくて何であらう、これこそ行詰りのどん底である「行詰るとは壁に馬を乗りつけたやうなものださうである——とすれば馬首を返すか、跳び越すか乃至はその場に蹐るか——である。跳び越したもの丈けが今後の繁榮を續けるであらう。然し馬が弱くては跳べない、これを一言にして云へば旨い醤油を安く賣れるやうにすることである、即ち經營の合理化によつて科學と科學的方法とを完全に事業に應用することである

二、釀造の過度期

釀業の發展が科學研讃に俟たねばならぬのは今更云ふまでもないことで科學の進歩即ち天然の征服といふことは思はぬ方面に現狀打破發展の機會を見せてくれるもので亦恐らく行詰つた世界をも救濟するものである、例へば天然の染料が獨逸に於てコールタール」から製造せられて世界の市場から天然染料が驅逐され、或は「レヨン」が益々世界の婦人の服装界を風靡しつゝあるが如くラジオにせよ、電送寫直にせよ、凡これ科學的研究から生れた偉大なる發明であつて自然の征服でないが、又動植物の生理的作用によつて產出する香料の如きも今や化學的に製造調合せられ、寶石も人造品と鑑別し難きものまで出來我國に於ても清酒に代るべき化學的合成酒が製造されて居ることは著しい、蛋白質化學及び細菌學の進歩は食品化學及び醗酵學に多大の影響を與へ我國に於てもこれが研究が盛んに行はれつゝあるのであつて、將來益々發達の道程にあるのである、從つてこれに依つて我國の食品製造業は勿論我が醤醸界の蒙る影響も蓋し僅少のものではあるまい。

永き歷史と古き習慣にはぐくまれた醤油は我國唯一の調味料であるが、文化の進む時の流れと共に生活程度の向上により、これが嗜好にも變化を來しつゝあることは、見のがすことの出來ない事實である、然るに醤醸家がこの嗜好の變遷需要の轉換等、所謂商機發動の對象については、とかく注意かに漏れがちの憾がある。

もとより醤油の價値が味にあることは花を觀て自然の美しさを賞し、香水の馥郁たる床しき香りを愛する如く醤油に對する一般消費者の要求が調味料としての本質である味にあることは云ふまでもないことである。

從つて醤醸家は味に對する不斷の研究と周到なる注意を要するのであつて醸造中は勿論製成技術の研究に於ても味の化學的研究は一日も忽諸に附すべき問題でないと思ふのである、斯くして醤醸界は今や「醸造より製造へ」進むべき過渡期にあることを思はなければならぬ。

『秋』

佐藤清長

ものなべて
うら果敢なげに暮れ惱む
秋の自然の淋しさは——
これ
何ものゝ
密ませあるかしらねど
も
秋ともなれば吾は淋し
き

工場の
窓邊に一ッ咲き殘る
朝顔の花末だすぼます
稲道の
細きを拾ひ吾行けば
風そうそうと秋やゝ深
し

夕映ひの
千切れる雲を頂きに
迷はすに似し重き愁ひ
よ
うなだれつ
歩めば野地の細道も
何——長々と
つきせぬ如し

小説　死を超ゆる者　(105)

三上於菟吉作
布施平八郎畫

征服されたもの（三）

「折角のお訪ねしたが、若しあの問題の受理不受理についての御質問ならば、お答へ申上ぐることは遺憾ながら出來ません、いづれまたお目に懸つた節御無禮をお詫いたしませう」

いづれお目に懸つた節といふ一句は、針のやうに間い惱んだ胸にギクリと觸れた。

「しかし」と間を暫らくして顔を上た、その時彼の顔にはこれまでの妙に因盾な滅入つたやうな影が消ねてある物凄い棄て鉢な寧ろ威嚇的なものがあつた。

「しかし若し今度の問題をあまり掘つて行かれると累は意外な方面まで及ぶのみではなく、ことに依ると檢事正御自身の利害にも觸れると存じますかな」

檢事正は立ち上つた。

間も立ちあがつた

二人は顔を突合せるやうにして一は誘視的な、一は敵對的な目を見合せた

「いやよく解りました。例へ累を意外な方面に及ぼさうと又私一個の身が如何なる利害に觸れませうとそれは勿論初めから覺悟の前であります、常に身司直の職務に忠誠たらんとする者はその位の覺悟は充分持つて居ります、まづお話はこれ位に止めて後は双方の自由に委せては如何でせうか、今日は私はこれで失禮を致します」

と突然檢事正は決然として其場を立ち去らうとしたのであつた。棄て鉢になつて今や檢事正を高ひしやに威嚇しやうと計つた間は却つて檢事正の存外平氣に一種の恐怖を起したものと見え今度は下手に立去らんとする檢事正に泣きすがらんばかりに訴へた

「いや、さう事を大袈裟にとりくだられちや困ります唯私は自分一個の考へ許りぢやなく世の公平な輿論を耳にしたことを單に御參考までに申述べたに過ぎないので無論先生の御職務上からのお立場も御推察申して居りますが、そのところはなんとか先生の御同情と而してかつは山口男爵からの御忠告にもお耳を傾けさせられて詰らん浪人者の無責任な噂話位のことに御受理にならないやうにお願ひ申したいと存じて實は今日態々お伺ひ申上げた次第でムいます」

と今度は打つて變つた猫のやうな聲を出して頻りに詫いるやうに泣きつくやうに訴へるやうに、さすがの日頃豪者な間にも似合はずすねにきずもつ彼は今となつては覺悟の前、たゞ今度の問題をどうにかしてもみ消さんものと畢生の力を出して檢事正に泣きすがつた

「いやよく〳〵お話しの赴もあなたのお心持ちも解りましたが、然し先程から繰返して申上げるやうに、只今のところ私の職務上においては山口男爵の御忠告でも亦いかなる高位高官の御命令でもこのことばかりは私一個の考によつては如何とも茲に御即答申上ぐることは斷じて出來ないのであります、私は檢事正とし御存じの通り檢事局の上席をけ妨げるもので、檢事局は國家の義務と權利を正當に主張し其間何等の私的情意を許さぬ公務上の執行權を握るものであります、まづこれ以上私に御追求なさらぬやうに願ひたいのであります」と檢事正ははつきりと話しを打ちきつてしまつた

廣告

正確な体温器と
寒暖計は親切な
山野邊藥店
平町五丁目角

吉田眼科醫院

化粧くづれのない
固煉白粉

一　汗で化粧くづれにお困りの方は、是非ホシ美固練白粉をおつけ遊ばせ。
二　ホシ美固練白粉は、化粧くづれのない上にノリ、ノビがよく、化粧榮のする特徴を存つてゐます。
三　このホシ美固練白粉こそ、皆様の御滿足を購ふことの出來る品でございます。

ホシ美固煉白粉

東京　星製藥株式會社　大崎

伊勢崎
八王子
足利
優秀新柄銘仙陳列　於階上
十月三日ヨリ七日間
秋冬物新柄特選陳列と實用品特賣
モスリン着尺
モスリン友仙
入選新柄陳列　於新館
三井呉服店

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町十五丁目通り
須藤まつの

◎診療開始
耳鼻咽喉科專門　日本醫大醫學士院長　鈴木正男
齒科口腔外科　日本齒科醫學士科長　高橋正永
◎晝夜診療
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前六間通り
鈴木醫院

毛糸
本年は昨年より御安う御座います
毛糸見本帳進呈
一オンス　十五錢　十八錢　二十五錢
（中細。極細。スコツチ等……澤山入荷致しました
平町田町　藤田女學校隣
ハシモトヤ糸店

入院隨意（自炊の便あり）
X光線科
外科專門
平　南町
上田外科醫院
電話一二九

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平長五〇七番

内臟外科
骨關節外科
整形外科
產科
婦人科
專門　藤本順
院長　木村寅次郎
外科
婦人科
平町新川町
木村病院
電話一六四番

湯本區制の廢止
可否の論喧騷
區會議員十二名が
三函座で演説會

湯本町湯本區會は巨額の區有財産の管理その他學資湯本町政を左右し得る絶大な權威と重大な責任とを有してゐるが斯くの如き機關を特設してゐくことは湯本町政を敢て益々復雜ならしめるものであるとの見地から區會廢止論さい出て之れが可否如何は可成り重大な論點となつてゐるので去る一日執行當選した區會議員十二名は來る九日午前九時より町同三函座に於て區制廢止の當否並にその他區劃諸般に亘つて演説會を開くことゝなつたが相當注目を惹いてゐる

石城地方の
惡疫
百名の大激減

石城地方には腸チブス其他の惡疫が猛烈な勢ひで流行してゐるが今年十月一日までの傳染病發生數を昨年の同期と比較して見ると平警察署管内（平町外三町十八ヶ村）に發生した患者數は最高が

△腸チブス一〇三人昨年の二三六人に比して半減死亡率は一三人

△バラチブス二八人昨年は一六八で八分の一に大激減死亡なし

△ヂフテリヤ五七人で昨年と六五人死亡率は八人

△猩紅熱五八人昨年七八死亡なし

△疫痢二三八人昨年八八人で三倍に大激增死亡率は最も甚だしく一六患者數の七割と言ふ驚異すべき數字を示してゐる

△赤痢二八人昨年一〇八人で約三倍の大激增死亡率は七八

以上の如くで此の總患者數二百十八人昨年同期までの三百四十二人に比しては百二十名からの大激增である

二十年前に較べて
一町ほど狹まる
之れは不思議と調査開始
丹後澤の怪

平町が公園を開く目的で拂下を受けた丹後澤の面積が明治二十年頃と現在一町歩餘も相違があるので不可解な問題として見られてゐるは昨報の如くであるが、平町役場に保存されてゐる明治二十二年に平町外十九ヶ村戸長から縣に同地の埋立を陳情した當時の書類には面積三町四反二十歩と明記してあるところが今回平町で實測して拂下を受けた面積は二町三反餘であつて一町歩以上狹くなつてゐるので役場當局でも不審に思ひ近く當時の書類を基礎として調査をなす由であるが古老の語るところによると丹後澤は昔にはもつと廣かつたもので近年附近に家等ができたので大部押立てられせまくなつたとの事であり町當局で實測をなせば以來不明の一町歩の土地が發見されることゝなりその一町歩等の土地に建物等ができてゐるとすれば國有離種地を無斷使用してる譯でもありこの不明地問題は如何に進展するか頗る注目されてゐる

制限が利き過ぎで
市場炭品簿
けふから貯炭調査で
增炭を內々奬勵

常磐各炭礦の自營策として實行してゐた出炭一割五分の制限は九月末日で申合せ期間滿了したので十月より更らに申合せを行進することゝなつたが各炭礦の販賣連絡機關たる木曜會、仙臺礦山局、鐵道省、常磐礦業會では今七、八の兩日各炭礦の貯炭を嚴重に調査中である、而して今期制限中における出炭の狀況を聞くと御利益が利き過ぎ豫想外に出炭減となり市場は品薄となつてゐる惡質に鑑み十月からは出炭制限の申合せを其のまゝ繼續し內々增炭奬勵を計る方針であると

大西局長視察

全國鑛業安全デーは來る二十日から二十六日まで行はれることゝなつたので大西仙臺監督局長は二十三日から常磐各炭礦を視察すると

豐間のボヤ

竈室から發火して

石城郡豐間村大字豐間字下川農四家条四郎方の竈室から六日午後八時頃發火し唐紙三枚を燒いて漸く鎭火したが大騷ぎであつた

學校專門の
怪賊
平署躍起捜査

平町の官私立各學校寄宿舍或は敎室に最近頻々と盜難があるもので平署では躍起となり犯人捜査を行つて來たが皆目星がつかず頭を惱ましてゐた矢先一日午後十一

トロの下敷
車夫誠止即死す

好間村小田炭礦居住岩瀬郡須賀川町生れ車夫大內誠止（三五）は五日午後一時半頃同坑石炭積込場に於て作業中トロ脫線して下敷きとなり即死し平署七海部長檢死の上死体は家人に引き渡した

平婦人會總會 平町

平婦人會では來る十一月三日午前十時より第一小學校に於て總會を開き生活改善同盟會理事塚本ハマ子女史の講演ある

鑛山の災害
防止講演會
湯本町に開く

石城郡に於ける各炭鑛現場員のため礦山協會仙臺地方務委員會では六日、十三日の兩日湯本町小學校に於て鑛山に於ける病災害防止に關する講演會を催す由で講師は仙臺礦山監督局囑託東北帝大敎授近藤醫學士並に同局塚谷技師その他であると

教化講演會
郡下で三ヶ所

本縣社會課主催の教化緊縮講演と映畫會は左記日割で行はれるが講演會は午後一時より四時まで、映畫會は六時半より九時までゝある

十二日四倉小學校、十三日小名濱小學校、十五日下小川村小學校

巴里より一筆

バリーにて 八田宗吉

河沼の補欠戰を遙かに想像し勇躍禁じ得ざるもの之有り候、有力なる同志各位の御健鬪に期し申候

九月六日

磐城新聞社御中

小生幸ひに頑健御休神被下度候

九月六日

バリーにて 八田宗吉

鈴木辰三郎樣

酒屋は減つて行き
お菓子屋は激增
行商人も殖ゑて來た
平町昨今の商界

平町に於ける商業界の近況を見ると一般の購買力が減少したのかそれとも勤儉力行の習俗が徹底して來たのか不景氣の好景氣の轉換期に際した現象で寧ろ當然な歸趨なのだから當業者としてもこれに善處するの工夫をすればこの難關を突破し得るに違ひない大きい店舖を有する向は別として近來行商を營むものが非常に多く一時衰へたいはゆる背負子賣りなるものは近來非常に增加したこれ等を見ても大抵の想像はつくのである

更に珍らしい現象は簡單なる花賣りの多くなつたことであつて從來店舖を有する花屋の繁昌は元より僅か仕立ての花賣りは老人子供の內職としてもたカミさんの子守役にめぐつて步くなども可なりの收入になるらしい氣勢であるこの外に酒店の減少に反して菓子店の增加並びに八百屋の激增などは何としてもこの間の消息をものがたるではあるまいか——と平町役場の勸業課員は語つてゐた

海軍兵の一日（下）
養はれる糧食其他

特務艦間宮、排水量五、八二〇噸、速力一四節、給糧艦は軍需部から糧食を積み込み、受込んだ糧食は再び

艦上 で檢査する。

積み込まれてる糧食は、更に同艦でもその鮮度につきアンモニヤ檢査、その他一通りの檢査を行ふ。冷藏庫は肉類、野菜等約七萬五千貫の容量を有し、その他の艦艙には白米、割麥其の他五十三萬五千貫を積むことが出來き、冷藏庫內に格納された牛肉は石の如く堅く凍結して居るで、モーター付き丸鋸機械をもつて骨諸共小切りに切斷の上各艦に配給せらる、冷藏庫の温度は華氏十五度を標準とし（攝氏零下十九度餘）冷藏庫の温度は上甲板から測る、冷藏庫はなるべく冷氣を逃がさぬ樣、凡て上甲板より

溫度 を計るので數段の甲板を貫いて寒暖計が吊してある、晝夜の別なく每時計測して溫度に注意しなくてはならぬので、二十數個の寒暖計を見廻るだけにしても大變であるが、最近は電氣自動寒暖計を設備する事となつて居る、艦內製品、間宮では艦隊に供給する色々な食糧品が造られる、先つ豆腐と蒟蒻とを造つて居る、之は永く出動して居る兵員の何よりの慰安である、豆腐の製造は一日に四百貫位を造り蒟蒻の製造は是又一日に三百貫位出來る

從業 者は海軍兵でなく總て專門の人である、又艦內で[illegible]を造る、之は一々目方を量り手で丸めてゐる。釜は廻轉式電熱釜で一回約四貫餘を作り得る。之も專門の人でるも艦隊乘員一般のためラムネ、アイスクリーム機械を設備し尙ほドーナツ、フルーツパー其の他簡單な洋菓子も造つて非常に艦隊在泊の嗜好に投合し何よりの慰安となつてゐる、之も傭ひ人が造つて居る、給糧艦から各艦へ糧食を配るには、作業地にありては毎早朝より間宮備ひ付けの「ランチ」で各艦に

糧食 を送り屆るのである、扱又艦隊出港の時は各艦は當分入用の物を直接軍需部から積込む艦內の食糧は主計兵より調理される海軍日常起居の動作及び勤勞による一分間消費カロリーは色々の動作々業に依つて大變な差異があるが鍛治業等は最も大きいものであつて、一分間八カロリー以上を消費する。海軍ではこの調査を基礎として今日の兵食の量額を定められてゐる、消費カロリーは作業により兵種により又時により非常に差異があるが多くの人も

永い 期間を平均すれば大体に於て海軍兵は一日[illegible]六百カロリー位となり之を補ふ食糧は大体三千カロリーを目標としてあるから此の間に四百カロリー位の餘裕がある多少の食ひ殘りあつてもよく新陳代謝の均衡がとれてゐる、出來上がつた食事は副長、軍醫長たよび主計長の點檢を受るのであるが、副長は艦長の補佐として又乘員の母としての立場から又軍醫長主計長は夫れ／＼衞生の點調理の巧拙如何を見るのである食後の食器は特に衞生に重んじ食器ごとに十分の熱氣消毒を行ふのである

笑話 新經濟學說
五圓金貨と紙幣交換
平署員閉口の卷

石城郡磐崎村柴田寛一（三四）は去月日本銀行に五圓金貨一枚を送りその後同行に對して紙幣二千五百圓を貸してくれと數回請求し最後には不穩な文字を並べた脅迫じみに手紙まで差出したので日本銀行では非常にびつくりし所轄平署に同人の取調べ方を依賴したので平署では六日同人を召喚矢野警部補主任係となり嚴重取調べたところ同人は日本の紙幣は原價僅か一錢五厘であり五圓紙幣はせいぜい二錢位で出來るものだから紙幣の價値は極度に下落してゐるそれ故五圓金貨一枚と紙幣二千五百圓が相當するから單に交換してくれと申込んだのだと平然と申立てゝゐるのにはさすがの矢野警部補も啞然としてしまつた同人は大の天理教信者であつたが最近精神に異狀を呈した結果前記の始末に及んだものらしく何れにしてもこうした事件は全國にも未だ類例がないだらうといはれてゐる

立木を公賣 平營

林署では管內上小川外三十一口の國有林立木（モミ、栗、樫、楓、欅、クヌギ）の公賣をなすが入札期日は來る十九日午前九時で入札者は保證金として入札價格の百分の五を納附すべしと

記者募集

中學校三學年修業程度の學力ある眞面目にして身体强健なる靑年記者二名を募集す（但し平町在住者に限る、保證人を要す）希望者履歷書持參本人午前中に來社あれ委細面談

電話書信の交涉絕對謝絕

營業部員

年齡二十二歲以上、身体强健にして新聞業務に趣味を有する眞面目なる營業部員一名を募集す希望者は履歷書持參本人午前中來社あれ、給料その他委細面談

磐城新聞社

石城第三區各校の
兒童陸上競技
きのう磐中校で

石城郡第三區小學校、內郷好間、赤井、平窪、小川、十二校聯合第三回兒童陸上競技大會は六日午前九時から磐中グランドに絕好の秋日和に惠まれ開催した、少年少女の選手は五百餘名の少應援團の聲援に健鬪し觀衆も多く盛況を見、午後四時終了したが競技主なる決勝成績は左の如し

△四百米 高一男赤井第一 樋口（一分十二秒五分）
△同高二男平第一 長谷川（一分九秒五分二）
△走巾跳 尋五男內郷第二 中橋（三米八九）
△同五女赤井第一 岡山（三米五二）
△同六年女內郷第二 岡田（三米七九）
△同高一女平第三 新妻（三米五五）
△同高二女平窪 根本（三米九〇）
△四百米リレー 高二女平第二（一分二秒五分三）
△三段跳 尋六女平第二 山口（七米九七）
△同尋六男赤井第二 平岡（九米五〇）
△百米尋五男內郷第二 重田（一五秒五分二）
△同六年男平第一 福田（一四秒五分四）
△同六年女平第二 遠藤（一六秒五分一）
△同高一女平第二 松本（一五秒五分三）
△同高二女平第二 福田（一五秒五分三）
△三段跳 高二男赤井第二 安齋（九米六二）
△同高一男赤井第二 安島（九米六七）
△五十米 五年女內郷第二 野崎（八秒五分二）
△高六年女內郷第二 岡田（八秒第五分一）
△同高一女平第二 山野邊（八秒）
△同高二女平第二 鈴木（七秒五分四）
△同二百米 六年男平第一 齋藤（三十一秒）
△同高一男內郷 津田（三十秒五分四）
△同高二男好間 山口（二十九秒五分一）

優勝
堀、吉田組
二縣下聯合

平庭球俱樂部の堀、吉田組は去る五日白河町庭球協會主催の第八回福島、栃木聯合庭球大會に出場し優勝カツプを獲得したが戰跡は左の如し

準決勝

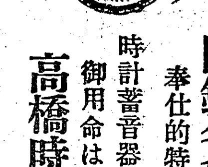
平 堀 吉田 5—3 磐城 志賀 國庭田

決勝

平 堀 吉田 4—1 郡山 小野 永井

野菜を盜む
平署に捕はる

石城郡神谷村字片寄西山方佐藤正則（六二）は六日午前一時頃同郡內郷村字內町地內の野菜畑から漬茄十五百個外白菜、葱、牛蒡等を竊取逃走せんとしたところを密行中の平署員に捕へられた



懷中電燈類乾電池
眼鏡各種レンズ
奉仕的特價に致志ます
時計蓄音器の修理
御用命は
高橋時計工作所
平町土橋通り
大々的勉强示時正確

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
マルソー、プランク
マルソー、ルージ
生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二 西村屋藥舖 たはなし 三番

營業種目
內地材 材木各種 羽柄材各種 建築諸材 請負 礦山用坑木其他諸材請負
外材部 米松、米杉、大角製材調達 請負 其他
佐藤材木店
常磐線平町新川町 電話 三三五番

夜間 診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門 內科部
花柳 淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電話一〇七番）

特賣!!
たひら正宗 福島縣清酒品評會一等賞受領
花春 同優等賞受領
醬油釀造元
鹽屋 山崎合名會社
電話一一〇番

高久病院
平町田町
電話五一三番